

## 2018 年度 学術論文

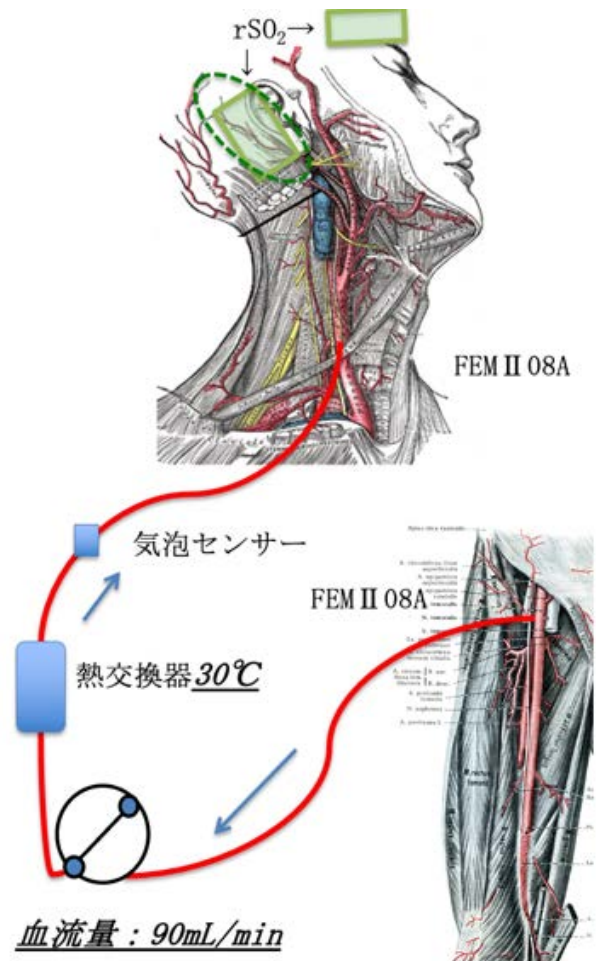


臨床工学科  
加納 寛也 先生

急性 A 型大動脈解離に合併した内頸動脈血流障害に対する早期脳再灌流法と rSO<sub>2</sub> 測定の有用性について

掲載誌：Extra-Corporeal Technology. 2018

急性 A 型大動脈解離は緊急手術を要する重篤な疾患である。発症時に 3~7%で脳血流障害を合併すると言われており、きわめて予後不良であり早期発見・早期再灌流が重要である。我々は急性 A 型大動脈解離に内頸動脈の血流が阻害され前額部局所酸素飽和度 (rSO<sub>2</sub>) が左右差を認めた脳灌流障害を合併した症例に対し術前から早期再灌流を施行し脳虚血の軽減を図った。施行した患者に対して脳虚血時間の短縮を図った症例では、人工心肺使用下で大動脈人工血管置換術後でも合併症なく意識清明で軽快退院となった。脳血流障害を認める患者に rSO<sub>2</sub> で左右差を認める症例には早期脳再灌流の有用性が示唆された。



## 看護系大学の学生における看護プロフェッショナルリズムの認知

(Recognition of Nursing Professionalism in Undergraduate Nursing Students)

掲載誌：日本医学看護学教育学会, 2018

著者：西川 美樹, 細田 泰子, 紙野 雪香.

助産学専攻科  
西川 美樹 先生

プロフェッショナルリズムとは、専門職固有の態度や行動を特徴づけ、患者・社会からの信頼形成のために必要不可欠なものである。そして、その形成のためには基礎教育は重要な位置づけにあるといわれている。本研究では、基礎教育課程にある看護系大学の学生が、その学習プロセスの中で、看護プロフェッショナルリズムをどのように意味づけて捉えているのかについて調査した。学生は、【信頼形成の基盤となる態度】【相互作用の促進をめざすアプローチ】【医療チームの一員として果たすべき責務】について認知しており、その認知のためには教員や臨地実習における看護スタッフは、ロールモデルとして重要な位置づけにあることが明らかになった。このことは、医療職業人を育成する立場にあるわれわれ大学教員としてのあるべき姿や、その教育的示唆を得ることの出来た研究であるといえる。